



かどっぴー・がわっぴー

# ふれあい

新しい学年がはじまり、小中学校とも新1年生もそろって、元気いっぱい勉強する姿が見られるようになりました。門川町教育研究所では、今年も確かな研究・実践に取り組み、その成果を家庭や地域、学校に情報発信していきます。

今月は、今年1年間、学校で取り組む「学力向上のための3つの実践」や家庭で取り組む「学習習慣づくり3つの実践」と、1学期を乗り切るための親の役割、について紹介します。



**教育研究所は、今年も確かな研究・実践に取り組み、子どもや家庭、先生を応援します！**



門川町  
最重点施策

**確かな学力の向上を図る教育の充実  
～町立学校の子どもに確かな学力を保证する～**

学校の取組

学力向上のための3つの実践に取り組みます。

学習指導に力を入れます

基礎・基本の定着と学んだことを活用する力を伸ばすために、しっかり話し合う活動や見届ける指導を行うなど、メリハリのある授業をつくりあげます。

時間割を工夫して  
補充指導に取り組みます

週や月の計画、毎日の時間割を工夫して補充指導の時間をつくりだし、一人ひとりの学習状態に応じた学習指導に取り組み、学力のレベルアップを図ります。

家庭と協力して  
学習習慣づくりに取り組みます

家庭や地域と協力して、学力向上につながる啓発や環境づくりに取り組み、子ども一人ひとりの学習習慣づくりを支援します。

家庭の取組

学習習慣づくりのための3つの実践に取り組みます。

家庭学習習慣の定着

子どもの成長に合わせて、家庭学習に目を配ったり、声をかけたりして、やる気と自信をもたせながら、学習習慣づくりに取り組みましょう。

家庭読書の実践

1週間や1ヶ月のうち、どこかの時間でテレビを消して、30分程度、家族で本と向き合う時間をつくるようにしましょう。

テレビやゲームの時間、  
携帯やスマートフォンの使い方ルールづくり

テレビやゲームの時間、携帯やスマートフォンの使い方についてのルールをつくり、勉強や人間関係に支障がでないようにしましょう。



## 子どもの体や心で、4月に気をつけたいこと！

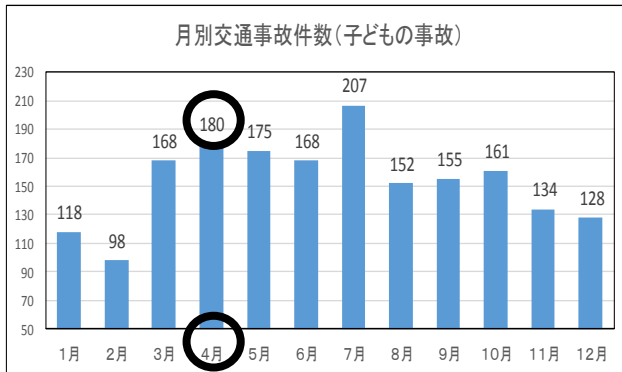
1学期を乗り切るために大切な、親の役割を紹介します。



4月は、入学・進級などで新しい生活が始まり、期待に胸をふくらませ、楽しさに満ちあふれています。しかし、その反面、通学時の安全、子どもの心や体の変化などで、多くの心配もあります。

### 交通事故に気をつける！

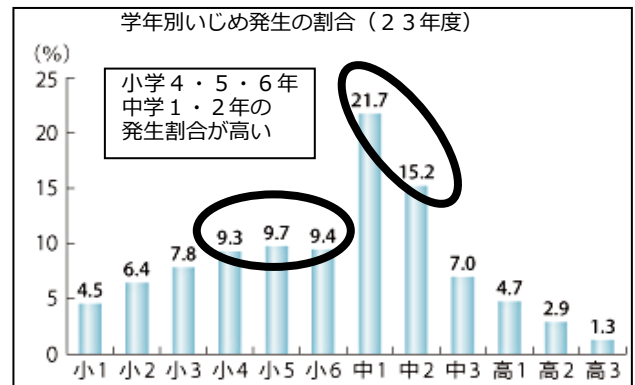
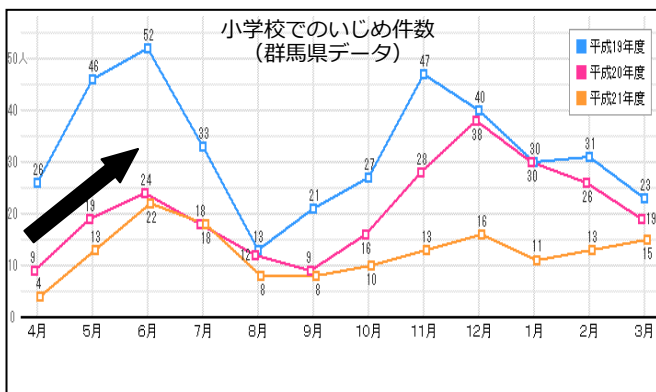
子どもの交通事故が多いのは、入学・進級する4月と夏休み直後の7月です。(警察庁データより)



4月の子どもの交通事故は、夏休みに入った7月に次いで多くなっています。小学校では新1年生が通学するようになる、中学校では新1年生が自転車通学を始める、といったことが原因と思われます。このことを踏まえて、常に交通安全の声かけをする必要があります。家庭で交通安全の約束をつくることも効果があります。

### 子どもの変化を見守る！

いじめ問題は、入学・進級した4月から6月にかけて増えていきます。(文部科学省・群馬県データより)



#### 子どもの気になる変化！

- ・持ち物をよくなる
- ・持ち物がよごれている
- ・持ち物に落書きやイタズラがされている
- ・なんとなく元気がない
- ・登校をしづる
- ・家族に対するあいさつが前より小さい
- ・友達の話をしなくなる
- ・きょうだいやペットに対して乱暴になる
- ・親への反発がひどくなる

4月の入学や進級などの新しい生活が、子どもの心のストレスになることがあります。「うまく学級になじめるかな」「いじめられたらどうしよう」といった不安もあります。また、前の学年から続いているいじめもあるかもしれません。明るくふるまっても、この時期の子どもは、色々な心配や不安をもっています。このような子どもの心や体の変化をしっかり見守り、問題を見つけ、早く対処することが大切です。

## 子どもの教育や子育てで、悩んでいませんか？

困った時には、**教育相談室に気軽に電話をしてください。**

相談電話(門川町教育相談室)  
63-1566

~~~~返信欄 (教育研究所便り「ふれあい」へのご意見や感想をお聞かせください。)~~~~